



表紙:平成29年度新規採用職員 辞令交付式(会議室にて)

### 理 念

私たちは、赤十字の理想とする人道・博愛の精神にもとづいて、よりよい医療を提供し、皆様に信頼される病院をめざしています。

### 基本方針

1. 地域医療の推進と救急医療の充実に努めます。
2. 患者様の権利を守り、その意思を尊重した医療を行います。
3. 地域の皆様の健康増進と疾病予防に努めます。
4. 清潔、快適で、やすらぎのある環境づくりに努めます。
5. 常に研鑽を重ね、資質・技術の向上に努めます。

### Pick Up

- ・地域公開講座～住み慣れた地域で安心して暮らすために～
- ・地域連携室だより「ちいれん」



**日本赤十字社 清水赤十字病院**

Japanese Red Cross Society

〒089-0195 北海道上川郡清水町南2条2丁目

TEL0156-62-2513 FAX0156-62-4460

URL <http://www.shimizu.jrc.or.jp/> Mail [rcssoumu@shimizujrc.or.jp](mailto:rcssoumu@shimizujrc.or.jp)





さんぽうよ  
**「三方良し」を目指して**

病院長 藤城 貴教

桜前線もようやく道東を通過し、北海道はリラ冷えの季節を迎えております。昨年度は4月の熊本震災に始まり、8月の台風10号被害、12月には鳥インフルエンザによる家禽の被害と、“災い”の多い一年であったと思います。

当院は赤十字施設として大きな試練を乗り越え、次の新たな局面へと向かっておりますが、その一つに“勤務環境の改善と医療の質の向上による地域への貢献”に向けた取り組みがあります。具体的には仕事率の向上による勤務時間の短縮、それに教育研修による職員個々のスキルアップなどを行っています。実際に、業務手順・経費・診療体制などを見直し、無駄を省くことによって当院の収支は大きく改善し、生み出された時間的余裕により看護職員の有給休暇取得も平均で年間15日を超えることが出来ました、これは全道の赤十字病院で最も多い数値となっております。これらの業務改善は、それ自体が目的ではなく、より強固な地域包括ケアシステム構築へ向けた第一歩、いわば基礎体力作りといえるものです。二つ目には、来年度に控えた診療報酬改定があります。今回は医療と介護の同時改定となり、我々にはより一層の経営努力が求められますが、これは厚生労働省が肅々と進める社会保障費抑制政策の通過点に過ぎず、医療界ではますます効率化と省力化が求められることは言うまでもありません。

一方、我々が提供する医療について忘れてはいけないのは、近江商人の心得として知られる「三方良し」の精神です。「三方良し」とは、「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」の三つの「良し」のことであり、売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということです。つまり、”誰もが満足する商いをすべし”という教えです。これを医療に置き換えると、言うまでもなく、職員、利用者、地域すべてに満足のいく医療提供体制を構築するということに他なりません。

医療と介護の現実には様々な問題が山積みですが、我々は臆することなく地域医療の充実に向けて役割を果たしていくことが求められます。イギリスの名宰相に習い、経営が好調の時には悲観的に、不調の時には楽観的に考えていくのが良いのだと思います。

この春多くの新入職員を迎え、新たな年度を迎えましたが、今年こそ災害の少ない良い年であることを祈ります。

“悲観主義者はあらゆる機会の中に問題を見いだす。楽観主義者はあらゆる問題の中に機会を見いだす。” ウィンストン・チャーチル

# 地域公開講座を開催

5月29日に開催した地域公開講座において「住み慣れた地域で安全に暮らすために」「在宅や介護施設等への復帰に向けた支援について」をテーマに当院看護師3名が講演いたしました。



2階病棟看護師長代理  
高橋 亜紀

## 住み慣れた地域で安心して暮らすために ～地域包括ケア病床での支援～

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、介護・医療は大きな問題を抱えています。高齢者のケアの場を「病院・施設から在宅へ」変えていくことが、国が推進する地域包括ケアシステムの目的であり、その一部を担う『地域包括ケア病床(棟)』を、2017年1月より当院で開設しました。住み慣れた地域で高齢者が暮らしていくために、当病床へ入院された方には、その人に合った状態までの機能回復を目標とし、在宅復帰へ向けて援助をさせて頂きます。



2階病棟看護係長  
高橋 美穂子

## 在宅や介護施設等への復帰に向けた支援 ～退院支援について～

①日本の医療の移り変わりと現状、②介護保険の導入、ケアマネージャーの存在、そして在宅・地域包括ケアシステムの構築、③退院に向けての医療上の問題、日常生活動作の低下、介護上の問題を解決、地域に返すための関わりが必要、④当院の退院調整の実際。入院から～退院～在宅医療（フローチャートの紹介）、⑤他部門との連携、⑥退院前カンファレンス・事例紹介についてお話をさせていただきました。高齢多死社会にむけ、在宅看取りの支援体制が急務。現状は再入院も多く、退院後の生活状況の振り返りが大切と感じます。



外来看護師  
近藤 梓

## 在宅や介護施設等への復帰に向けた支援 ～訪問看護について～

1) 訪問看護とは 2) 訪問看護のしくみ 3) 当院における訪問看護の活動内容についてお話をさせて頂きました。その中で、当院でも徐々に増えつつある、自宅で最期を迎える場合の援助等についてもお話をさせて頂きました。

当院の訪問看護師は二名で、外来業務と兼務ということもあります。制限はありますが、出来る限り利用者の希望に沿えるよう努めて看護にあたっていきたいと考えております。



# 地域連携室だより「ちいれん」

## ～地域包括ケア病床のご案内～

第3号を迎えた地域連携室だより「ちいれん」のコーナーですが、今回は当院の「地域包括ケア病床」について取り上げます。

当院では、“住み慣れた地域で安心して暮らせるように”という目的のもと2017年1月に地域包括ケア病床を8床、ご用意致しました。病床開設により、当院内外での急性期治療を終え、地元でリハビリを続けたいという希望がある方や、自宅や施設に戻るために準備の必要な患者さんが入院され、おかげをもちまして、ほぼ満床での稼働となっております。

そこで、より地域のニーズに応え、より多くの患者さんに利用していただくことができるよう、本年6月より地域包括ケア病床を12床に増床しました。

あらためまして、地域包括ケア病床の機能とともに、地域の中で医療・介護・福祉に携わっている方々にご相談いただけるよう、以下に紹介させていただきます。



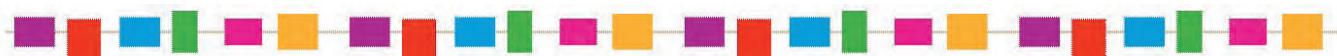
### 『地域包括ケア病床』とは？

- 病状が安定し退院が可能な状態においても、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さん・ご家族に対し、60日間を限度に、在宅復帰に向けた医療管理、診療、看護、リハビリを行います。地域包括ケア病床では、医師・看護師・リハビリスタッフ・在宅復帰支援担当者等が協力して、患者さんの退院支援をおこなっていきます。
- 地域包括ケア病床の大きな役割の1つに「急性期治療後の患者さんの受け入れ」機能があります。地域包括ケア病床では、急性期の治療を終え、病状が安定した患者さんに対して、症状に応じたプログラムの設定や看護師からの観察報告を通じ、医師が適切な処置等をおこないます。
- 地域包括ケア病床のもうひとつの役割として、「患者さんの在宅復帰支援」機能があります。超高齢社会の現代において、持病や虚弱（フレイル）などで入院に伴い生活の再編が必要になる患者さんも少なくありません。地域包括ケア病床では、リハビリ計画にしたがって、患者さんの状態を観察しながら可能な限りの自立支援をおこなっていきます。その人にあわせた状態への機能回復を目指すため、機能訓練をおこなっても不可能と思われる動作には、自宅で介護をおこなうご家族に向けたアドバイスの実施等で、患者さんとご家



族が希望する退院後の生活を実現できるよう支援していきます。

- 地域包括ケア病床では、何らかの理由で一時的に自宅での介護が困難になった際の受け入れや、在宅介護中のご家族に休んでもらうための特殊な入院である「レスパイト入院」もおこなうことができます。レスパイト入院では、介護疲れを癒したいときなど、在宅介護を支えるための入院とされています。そのため、長期にわたる入院はできません。地域包括ケアシステムが「ときどき入院、ほぼ在宅」とされている所以はここにあるのです。



## 「地域包括ケア病床」ご利用案内

地域包括ケア病床では、在宅医療を受けながら療養されている患者さんが  
事情により在宅での療養が一時的に困難となった場合にご相談をお受けしております。

- ご自宅 または 居住系介護施設等に退院される方がご利用可能です。
- レスパイト入院は、原則14日以内とさせていただきますが、ご相談にはできる限り応じてきます。
- 地域包括ケア病棟の入院期間が累計60日を過ぎた患者さんについては、前回の入院から3ヶ月を超えていることが必要となります。
- 褥瘡処置、麻薬の管理、痰吸引、胃ろう、気管切開、在宅酸素など、医療管理がある方も幅広く対応可能です。
- かかりつけ医からの紹介と、在宅での情報提供をいただき、事前にご相談くだされば円滑な入院が可能です。ご不明な点は地域医療連携課にご相談ください。

地域医療連携課 石井



# これまでの行事

## ビューティーメイクアップ 講座を開催



5月15日、清水赤十字病院会議室にて資生堂さんによるメイクアップ講座が行われました。“患者さんに安心感や好印象を与えるメイク”という観点から、ベースメイクやアイメイク、チークの入れ方などを細かく教えていただきました。また、デモンストレーションと実践を通してメイク法を学ぶことができました。

メイク後は参加した職員も活き活きとした表情になり、笑顔の溢れる講座となりました。

## 2017冬季アジア札幌大会 ～明治北海道十勝オーバルに救護員を派遣～



2017年2月18日～2月26日にかけて行われた「第8回札幌アジア冬季競技大会」において、スピードスケート競技が行われた帯広会場に、当院医師、看護師、ロジスティックスを救護員として派遣しました。

○2月20日（月）

白山真司 副院長、中野由佳子看護師、平山昭事務員  
○2月21日（火）

須藤隆次 第一内科部長、上野知紗希看護師  
阿部雅祐総務課長

○2月22日（水）

川村雄剛 消化器内科副部長、村井佐智代看護師  
伊藤訓診療情報企画係長

○2月23日（木）

藤城貴教 院長、斧木恵理那看護師  
石井康浩社会福祉士

## 感染対策研修会を開催 ～院内感染対策強化に向けて～



6月5日(月)当院会議室にて、北海道医療大学認定看護師研修センター感染管理分野専任教員 大沼まゆみ先生による院内勉強会「院内感染対策強化に向けて」が開かれました。今回、CDCガイドラインに基づいた「標準予防策+経路別予防策」と「カテーテル関連尿路感染予防」についてご講義頂き、職員45名が聴講しました。翌日には感染担当職員と共に院内ラウンドを行い、整理整頓や消毒薬の使い分けに対しあ褒めの言葉を頂きました。講師の大沼先生ありがとうございました！座長を務めた川村消化器内科副部長お疲れさまでした！

## 清水町赤十字奉仕団による活動報告 ～花壇整備～



6月9日、清水町赤十字奉仕団により、当院の花壇整備をしていただきました。当日は13名の奉仕団員のもと、天候にも恵まれ、心地よい日差しと気温の中での作業となりました。藤城院長、桜井委員長のご挨拶ののち、土の手入れや肥料散布を行い植栽していきました。団員からは「傾斜をつけて街行く人にも見やすいように！」など活発な意見が出され、紅白のベゴニアは赤十字マークに彩られました。近くを通られた際は、奉仕団の皆様による力作をぜひご覧ください！

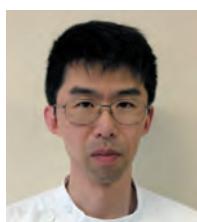


# 平成29年度 新規採用職員紹介

薬剤部 薬剤師

高下 智行

- ① 出身地  
新得町
- ② 趣味・特技  
読書、将棋、スポーツ観戦
- ③ 自身の性格  
器用な方ではありませんが、粘り強さはあると思います。
- ④ 今後の抱負  
一日でも早く仕事に慣れることです。



2階 看護師

菅原 夏実

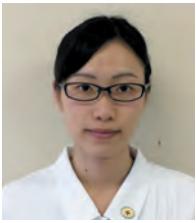
- ① 出身地  
足寄町
- ② 趣味・特技  
食べ歩き、バレー
- ③ 自身の性格  
マイペース
- ④ 今後の抱負  
少しでも早く仕事を覚えて、お役に立てるよう頑張ります。



2階 看護師

中尾 夏子

- ① 出身地  
足寄町
- ② 趣味・特技  
バドミントン、よさこい
- ③ 自身の性格  
ドジっ子と言われます。
- ④ 今後の抱負  
大きなミスをしないように、日々の業務やミスから学んで一つ一つミスをつぶしていくよう頑張っていきたいです。



3F 看護師

源 文香

- ① 出身地  
札幌市
- ② 趣味・特技  
映画鑑賞、海外ドラマ、マンドリン、ウクレレ、オカリナ、よさこい、宝塚、劇団四季
- ③ 自身の性格  
しゃべりが遅い、おっとりしているとよく言われる、前向きな性格だと思う。
- ④ 今後の抱負  
幼稚園からの夢だった看護師にやっとなれたのでこれからたくさん勉強して患者さんも自分も笑顔になれるような看護師になりたいです!!



臨床工学技術課 臨床工学技士

久保田 絵美

- ① 出身地  
池田町
- ② 趣味・特技  
料理、ソフトテニス
- ③ 自身の性格  
明るく笑顔が絶えない!!
- ④ 今後の抱負  
職員や患者さんから信頼されるような人間に成長したいです。



医事課 主事

鹿野 千臣

- ① 出身地  
札幌市
- ② 趣味・特技  
音楽を聴く、電子書籍を読む、ゲームをする、野球
- ③ 自身の性格  
心配性。
- ④ 今後の抱負  
清水赤十字病院に入社し、覚えることにいっぱいいいいっぱいの毎日で事務部の皆様に大変ご迷惑をおかけしています。早く独り立ちし、安心して仕事をさせていただけるよう努力していきます。





# 人 事 消 息

【退職】平成29年3月31日付

職 員	氏 名	備 考
看護師	香田登美恵	
看護師	古山 真芳	
看護師	柏木知紗希	
医事課 事務員	小畠美由紀	
総務課 事務員	赤木 智美	

【採用】平成29年4月1日付

職 員	氏 名	備 考
薬剤師	高下 智行	
看護師	源 文香	*3階病棟配置
看護師	菅原 夏実	*2階病棟配置
看護師	中尾 夏子	*2階病棟配置
臨床工学技士	久保田絵美	
医事課 主事	鹿野 千臣	*北海道支部合同採用
看護師	香田登美恵	*非常勤採用
医事課 事務員	佐藤 絵美	*嘱託採用

【転入】平成29年4月1日付

(新)	(現)	
職名	職名	氏 名
清水赤十字病院 理学療法士	釧路赤十字病院 理学療法士	米地 亮

## ちょっと部署紹介～検査技術課～

配属人数 臨床検査技師 3人

検査目標 迅速検査30分でのスピーディー報告

業務Point 検査依頼伝票が4種類あり伝票ごとに3人で分担しています。この為、検査依頼伝票が複数ある時は、患者ごとに迅速に報告できるようにカードを使用し検査中である伝票を明示、また、作業中断時には専用のカードを使用して誰が中断しているかを明示しています。

業務体制 365日24時間体制で検査に対応していますので、気軽にコールしてください。



## 今後の行事予定

### 地域公開講座

日 時 2017年7月29日(土) 15時～  
場 所 新得町公民館 1Fふれあいホール  
講 師 厚生労働省年金局事業企画課長  
宮本 直樹氏  
テーマ 「日本の医療制度等の現状と課題」  
参加費 無料

### 清水赤十字フェスティバル2017

日 時 2017年9月9日(土) 10時～14時  
場 所 清水赤十字病院  
内 容  
(予定)  

- ・薬剤師による薬の相談
- ・看護師による健康チェック
- ・研修医による健康相談
- ・管理栄養士による栄養相談
- ・理学療法士による腰痛予防相談
- ・救急法指導員による救急法体験
- ・子供救護服記念撮影
- ・災害、赤十字活動パネル展
- ・奉仕団による炊き出し実演
- ・屋台コーナー(ヨーヨー釣り、ボウルすくい、綿あめ)

### 編 集 後 記

北海道の短い夏が始まろうとしていますが、5月下旬～6月上旬、気温の上がらない日が続きその上、昨年の長雨のため、畑の養分が流され清水町特産のアスパラガスも太いものが非常に少なかったと知り合いの農家さんから聞きました。こんなところにも昨年の水害の影響が出ているんですね。今年は自然災害が猛威を振るわないことを願っていますがそこで出て行かなければならぬのが赤十字の使命です。私事ですが今年度で二度目の救護訓練参加となりそうなので戦闘服？いやいや、救護服にビシッターアイロンをかけ参加したいと思っています。

T.S

